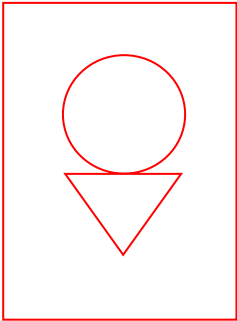


様式第2（第6条関係）

電気工事士免状交付申請書	
令和●●年●●月●●日	
福井県知事殿	
〒●●●●-●●●●●●	
申請者 住所	福井市●●●●●●
(フリガナ)	フクイ タロウ
氏 名	福井 太郎
生年月日 (和暦)	昭和●●年 ●●月 ●●日生
電話番号	XXX-XXXX-XXXX
電気工事士法第4条第2項の規定により第一種電気工事士免状の交付を受けたいので、次のとおり申請します。	
◎電気工事士免状を受ける資格	① 第一種電気工事士試験に合格し、かつ、実務経験を有する ② 第二種電気工事士試験合格 ③ 養成施設修了 ④ 認定
※ 受 付 欄	※ 経 過 欄
写真 	

- (備考)
- 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
 - 2 ◎印欄には、該当する事項を○で囲み、これを証明する書類を添付すること。
 - 3 ※印欄には、記入しないこと。
 - 4 この申請書には、写真（この申請書提出前6月以内に撮影した縦4センチメートル、横3センチメートルのもので、裏面に氏名を記入すること。）を添付すること。

収納証明書類

免状郵送先住所
福井市●●●●●●

【申込番号】（手数料納付システム利用時に記入）

1	2	3	4	—	5	6	7	8	—	9	0	1	2
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

実務経験証明書（記載例）

ふりがな	ふくい たろう	生年月日	昭和〇〇年〇〇月〇〇日
氏 名	福井 太郎		
現 住 所	〒〇〇〇-〇〇〇〇 福井市〇〇〇 (Tel 〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇)		
現在の勤務 先の名称及 び所在地	名 称	株式会社〇〇〇〇 (Tel 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇)	
	所在地	〒〇〇〇-〇〇〇〇福井市〇〇〇	
実 務 経 験 の 期 間 及 び 内 容			
所属部署及び役職名	期間	職務の内容	
〇〇営業所 〇〇課 第二種電気工事 士免状取得後の み対象	平成〇年 〇月〇日 ～ 平成〇年 〇月〇日	（一般用電気工作物（受電電圧 600V 以下）工事の場合） ・平成〇年〇月〇日第二種電気工事士免状取得後、住宅等の一般用電気工作物の新設および改修工事に作業員として従事し、主に屋内配線工事、配線器具の取付等を行った。（年間約〇〇件） （自家用電気工作物（受電電圧 600V 超）工事の場合） ・電気主任技術者の指導・監督の下、主に以下の自家用電気工作物の新設、増設、改修工事に従事した（年間約〇〇件） 〇〇ビル（受電電圧〇kV、最大電力 1500kW） 平成〇年〇月～平成〇年〇月 （電気主任技術者は〇〇㈱にて選任） 施行年月が偏らないように数件記入 ・電気主任技術者の指導・監督の下、自社工場（受電電圧〇kV、最大電力 2500kW）において、受電用変圧器の増設工事、照明器具や分電盤取付等の低圧屋内配線工事に従事した。（年間〇〇件） （電気事業用電気工作物工事の場合） ・電気主任技術者の指導・監督の下、主に以下の電気事業用電気工作物において、照明器具・分電盤・計器類取付、高圧幹線ケーブル敷設等の工事に従事した。（年間約〇〇件） 〇〇電力㈱ 〇〇変電所 平成〇年〇月～平成〇年〇月 施行年月が偏らないように数件記入	
受電電圧、最大電力を必ず記載すること。 最大電力 500kW 未満の自家用電気工作物の工事は第一種電気工事士免状がないと従事できません。（「認定電気工事従事者認定証」があれば一部可能です。）			
通算期間	〇年〇月		

上記のとおり、実務経験を有することを証明します。

令和〇年〇月〇日

所在地 〒〇〇〇-〇〇〇〇

法人名（法人以外の場合にあっては事業所名） ㈱〇〇〇〇

代表名（法人以外の場合にあっては任命権者等の氏名） 代表取締役社長〇〇〇〇

電気工事業の登録（届出）年月日：平成〇〇年〇〇月〇〇日

登録（届出）番号： 福井県 登録/届出※ 第〇〇〇〇〇〇〇〇〇号

証明者の押印は
必要です。

印

建設業許可番号ではなく、登録電気工事業者登録番号または電気工事業者届出番号を記載してください。

証明者は、電気工事業の登録・届出をしていること。（登録・届出後の期間について証明できる）

その他の場合は、事前に県担当者に相談してください。